

薬物乱用防止教室

平成30年9月25日（火）、薬物乱用防止教室を開催しました。
今回は「薬の正しい使い方・薬物が身体に及ぼす影響と現状」というテーマで、講師に学校薬剤師の田口和義氏をお招きし説明をいただきました。



講師の田口和義氏



治療の目的外使用を薬物乱用という

違法薬物は1回でも使用すれば乱用にあたり犯罪です。また、市販の医薬品も目的以外に使用すれば薬物乱用になります。違法薬物に手を染める人間には少年期に飲酒・喫煙を経験した者が多く、未成年の飲酒・喫煙は薬物依存の始まりであるといえます。

説明の中で薬物乱用者が書いた円はギザギザに描かれていました。また、書いた文字は読みにくく薬物の影響がはっきり分かりました。



プロジェクターで説明



クイズの答えをスクリーンで確認！

乱用される危険性のある薬物は、精神に影響を与える作用を持っており、中枢神経系を興奮させたり抑制させたりして多幸感、爽快感、酩酊、不安の除去、幻覚等をもたらす働きがあります。講師の先生は、さまざまな乱用される薬物を写真入りで紹介してくれました。



薬物について質問をする生徒



上手に進行してくれました

薬は、用法や用量を必ず守って使用しなければなりません。今回の薬物乱用防止教室は、道徳教育も兼ねて開催しましたが、生きていく上でとても重要なことを教えていただきました。

